

埼玉県電気工事工業組合

工業高生と意見交換

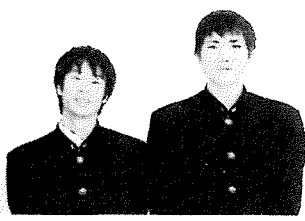
業界の理解を促す研修会



副理事長 萩島 副理事長

英之会長)からの業界説 玉電材営業所の平尾氏に
明 組合員22人と県内工 による電気工事体験学習を
業高校10校88人との意見 実施した。
交換、パナソニック(株)工 萩島一策副理事長は冒
コソリューションズ社埼玉 頭のあいさつで「皆さん

埼玉県電気工事工業組
合(沼尻芳治理事長)は
15日、埼玉電気会館で電
気工事業界理解促進研修
会を開催した。2014
年から行っておの今回で
4回目。青年部会(高橋



佐久間さん(左)と服部さん(右)



大勢の人が出席した



高校生がHEMSを体験

はこれから資格試験など
業界の厳しい場面に当た
るかもしれませんが、こ
の業界は将来に生かすこ
とができる職業になると
思います。研修会を通じ
て悩みや心配を解消して
ほしい。地産地学を経て
埼玉で素晴らしい活躍を
してくれることを期待し
ています」と高校生たち
にエールを送った。

続いて高橋青年部会長
が「業界の一線で活躍し
ている人たちから業界の
話を聞ける機会なので、
興味や就職に対する意欲
を持ってきて、将来業
界を背負ってくれたらう
れい입니다」と業界紹介
を兼ねて話した。

その後9テーブルに
分かれ、「電気工事業の
魅力」をテーマに意見交
換が行われた。組合員は
「若手技術者に望むこと」
や「業界でのキャリアア
ップ」などについて語
り、高校生からは「学業
で得た知識がどのように
生かされるのか」「資格
試験に向けたアドバイス
を」などの質問や意見が
寄せられた。

また、電気工事体験学
習として移動型HEMS
トラックによる体験学習
が意見交換会の合間に屋
外の駐車場で実施され
た。

HEMSは、IoT住
宅の普及に伴うエネルギ
ー節約・管理システムと
して注目度が高まってい
る。生徒たちは平尾氏の
説明を聞きながら、将来
の技術を真剣に学んでい
る様子だった。

意見交換が終わると各
テーブルの代表者から発
表があり、生徒が持つ業
界に対するイメージ、疑
問、不安などを共有して
理解を深めた。

参加した県立川口工業
高等学校理科2年生の服
部拓海さんは「電気工事
の大切さを学べて良かつ
たです。仕事に興味があ
らに湧いたので、資格取
得に向けて頑張りたいで
す」と意気込みを語り、
同校理科1年生の佐久間
雷侍さんは「電気工事の
奥深さを知ることができ
て良かったです。将来は
まだ分かりませんが、資
格を取るための意欲があ
りました」と笑顔で感
想を述べた。

電工業界の魅力伝え 工高生向け研修会開催

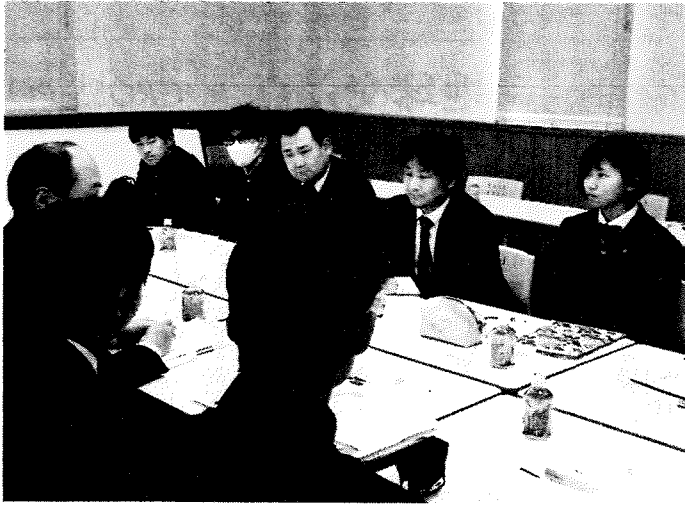
埼玉県電気工事工業
組合(沼尻芳治理事長)
はこのほど、工業高校
との「電気工事業界理
解促進研修会」を埼玉

電気会館(さいたま市)で開催した。組合員と高校生の意見交換会や電気工事体験学習を行い、電工業界に対する不安や疑問、魅力について率直な意見を交わした。

同研修会は電工業界の担い手不足解消に向けて全国の電気工事工業組合に広がる取り組み。埼玉では4回目となる。今回、県内の工業高校10校から教員13人と、生徒75人が参加。組合からは青年部会員を中心に24人が出席した。

開会あいさつした佐島一策副理事長は「我々の業界は厳しい面もあるが、身に付けたも

のが将来に生かせる素晴らしい職でもある。埼玉の地で素晴らしい活躍をする、世界に誇れる技術者に育つてい



業界に対する不安や疑問などについて、率直な意見を交わした

くことを期待したい」と述べた。

研修会ではまず、青年部会の高橋英之会長が研修会の趣旨と電工業界の実態や仕事内容などについて説明。続いて、パナソニックエレクトロニクス社の社員が電機メーカーから見た電工業界について紹介した。

その後、生徒と青年部会員を9班に分け、「電気工事業の魅力について」をテーマに意見交換会を行った。青年部会員からは自社の魅力や若手技術者に望むこと、電気工事会社でのキャリアアップなどを紹介。高校生からは電工会社のイメージ

や資格取得方法、自分の実力がどこまで社会で通用するかなどの思いが伝えられ、活発な対話がなされた。

体験学習は、パナソニックエレクトロニクス社の「移動型EEMSトラック」を活用。省エネを実現するHEMS(家庭用エネルギー管理システム)に関心を示していた。

研修会終了後、高校生たちは「男性社会というイメージや、知識や技術量が足りなくてうまくできないのでは」と不安だったが、実際に話を聞いて女性でも働けると自信につながった。「電気工事の仕事を知ることができ、有意義な時間を過ごせた」「達成感を実感できそう」などと話していた。

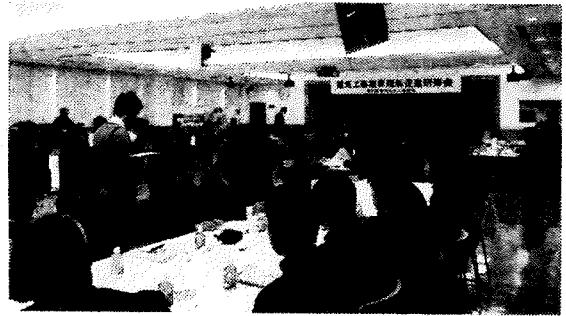
電気工事の魅力 工業高生と語る

北区で県電気工事工業組合

県電気工事工業組合（沢尻芳治理事長）の技術研究開発委員会は、さいたま市北区の埼玉電気会館で、組合会員と県内工業高校生らが意見交換などをする「電気工事業界理解促進研修会」を行った。同組合青年部会を中心とする組合員25人のほか、県内工業高校10校の教師と生徒計88人が参加し、「電気工事の魅力」をテーマに意見を交わした。

意見交換は9班に分かれ、班ごとに実施。組合員が「若

意見交換する県電気工事工業組合の会員ら―さいたま市北区の埼玉電気会館（提供）



手技術者に望むこと」など電気工事の現場について話すと、生徒からは「自分の実力がどこまで社会で通用するか」「電気工事関連の資格習得の方法は」など、積極的な質問が投げ掛けられた。

研修会では「移動型HEM Sトラック」の体験学習も実施。エネルギーを調節するための管理システムなどに、多くの工業高校の教師や生徒が興味を示していた。

（勇有花子）